

2月9日 漫画の日 特別企画

荒俣 宏 トークイベント

YO・NIN・MAN (妖怪・忍者・漫画)を語る

●日時：2020年 2月9日(日)
〈14:00～15:00〉

●会場：ルーロ合志 1F 市民ラウンジ

主催：合志マンガミュージアム 後援：合志市・合志市教育委員会

聞き手：橋本 博(合志マンガミュージアム館長)



荒俣宏氏(京都国際マンガミュージアム館長)・橋本博氏(合志マンガミュージアム館長)によるマンガトリビア対談「ヒロシーズの部屋」。
YO・NIN・MAN(妖怪・忍者・漫画)が日本を救う!!

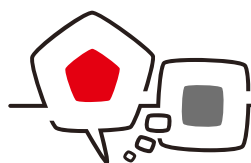
荒俣 宏(あらまたひろし)プロフィール

京都国際マンガミュージアム館長。妖怪研究家、博物学者、図像学研究家、小説家、翻訳家、収集家、神秘学者、タレント。水木しげるのマンガに登場する怪人「アリヤマタコリヤマタ氏」のモデル。著作多数。

●参加方法：合志マンガミュージアムへ電話・FAXでお申し込みください(12月17日(火)受付開始・先着70名予定) ミュージアム窓口の直接申込も可です。

詳細は合志マンガミュージアムHPをご参照ください。 <http://koshi-mm.com/>

お問い合わせ



合志マンガミュージアム

K O - S H I M A N G A M U S E U M

〒861-1104 熊本県合志市御代志1661-271

TEL/FAX096-273-6766



YO (妖怪)・NIN (忍者)・MAN (漫画) について



妖怪ぬらりひょん(荒俣 宏)



合志流忍者(橋本 博)

Q. YO・NIN・MANって何?

A. 妖怪、忍者、漫画のこと。正義のヒーロー「ヨーニンマン!」何となくカッコイイでしょ。

Q. どうして妖怪、忍者、漫画を一緒にするの?

A. 海外ではYOKAI、NINJA、MANGAのようにアルファベットで表記されており、今では日本を代表するサブカルチャーとして有名なんだ。江戸時代末期から日本で独自に発達した日本のオリジナル文化として3つ一緒に語られることが多いよ。

Q. 合志マンガミュージアムで「YO・NIN・MAN」を取り上げるのはどうして?

A. ここは忍者マンガ、妖怪マンガが日本一揃っているミュージアムを目指しているからだよ。

Q. トークショーに登場するのはどんな人?

A. 荒俣宏さんは日本の妖怪の総大将「ぬらりひょん」、橋本博さんは「合志流の忍者」になりきってる。大人になり損ねた永遠の子どもたちで、面白いお話がいっぱい聞けるよ。



読みだしたら止まらない!



【妖怪マンガ・忍者マンガ】特設コーナー

※2020年1月より 合志マンガミュージアムに設置

江戸時代、全国各地に生息する妖怪のキャラクター化から始まった妖怪ブームが妖怪マンガのルーツ。妖怪マンガの大御所水木しげるの貴重な貸本漫画、鬼太郎マンガコレクション、夏目友人帳、妖怪ウォッチまで。

日本人の心に潜む妖怪願望をマンガにした作品の数々を楽しもう。



日本で最も古いマンガのジャンルが忍者マンガ。その100年の歴史がわかるコーナー。大正時代の忍術研究書、忍者ブームのルーツとなった忍者小説、講談本、忍者が登場する古い貸本漫画からNINJAを世界に広げたNARUTOまで。